

1) 桃井第四小学校通学区域

(1) 地域の概要

○所在地・地形・土地利用

- ・ 区の北西に位置します。
- ・ 大部分が台地であり、善福寺池周辺ではみどり豊かな水辺環境を形成しています。
- ・ 主な土地利用は低密度な住宅地です。
- ・ 緑被率は33.58%と高い値を示します。
- ・ 避難場所となるオープンスペースもあり、災害時の危険度は比較的低い地域です。

○みどりの構造

- ・ 地域中央の善福寺公園は「みどりの拠点」に位置づけられています。
- ・ 善福寺公園から地域南部の善福寺川は「みどりと水の空間軸」に位置づけられています。
- ・ 青梅街道・早稲田通りは「みちのみどり軸」に位置づけられています。
- ・ 東京女子大・井草八幡宮など、大規模な民有の緑地がみられます。
- ・ 区内でも農地や樹林が比較的残されています
- ・ 善福寺公園周辺は風致地区となっています。
- ・ 地域一帯は東京都の位置づける「武蔵野の系」あるいは「武蔵野回廊」に含まれます。

○計画等

- ・ 外かく環状道路が計画されています。
- ・ 補助幹線道路228号（女子大通り）

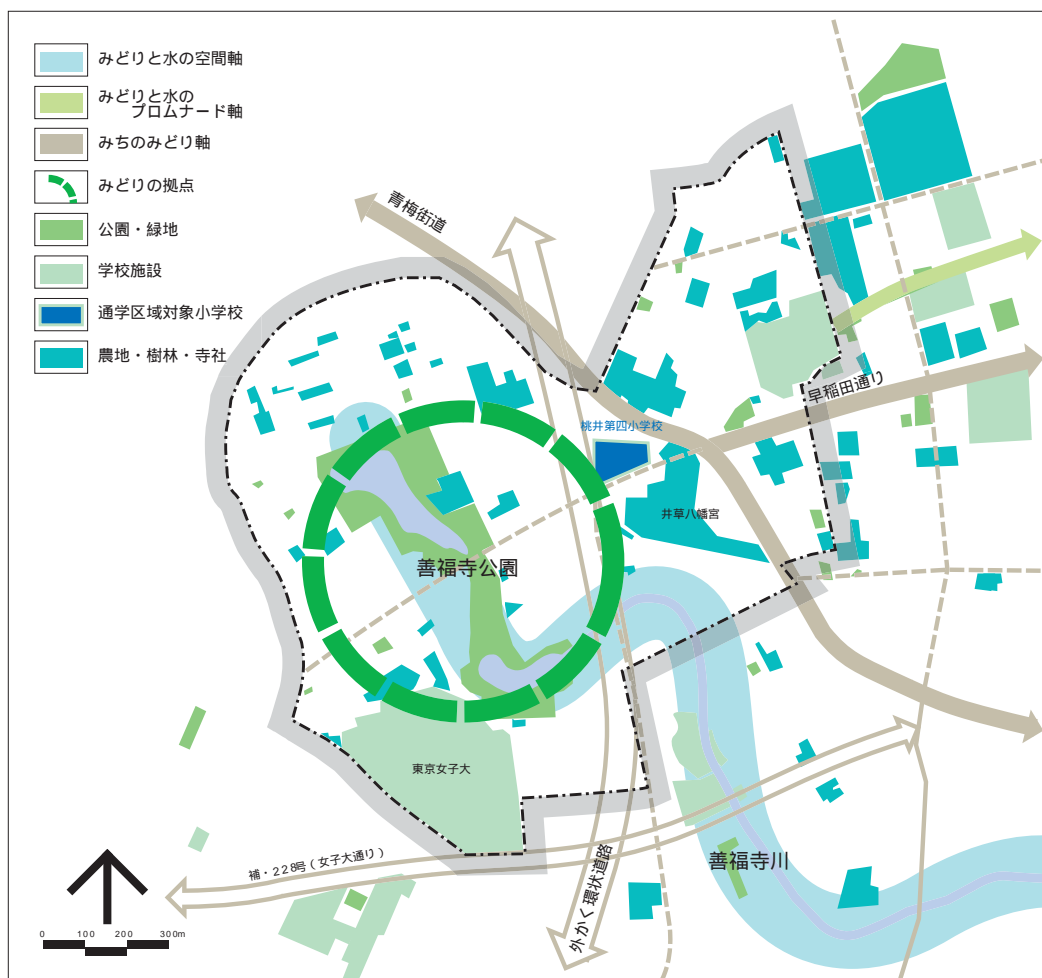


図-16 地域の概要

(2) みどりの要素

- 善福寺公園……善福寺池とその周辺の樹林からなる善福寺公園は、クールアイランドを形成し、また景観・防災・生物多様性・区民利用の面からも重要な拠点となっています。かつて各種トンボの発生環境となっていた上池の抽水植物群落は失われましたが、下池にマコモ、ガマ、ヨシ等が大量に移植されサギ類やバン、カモ類が見られます。下池周囲は植樹が多いが、上池には雑木林も残り、コゲラやシロハラなどの鳥類が多数見られます。下池ではセミ類が多く生息しています。
- 東京女子大……大規模な緑地であり、景観・防災・生物多様性の面からも重要な場所です。戦前は善福寺公園と連続した雑木林で、区内有数の昆虫生息環境でした。現在は本館裏のクヌギ林やシラカシ・ケヤキ林を除き庭園樹が大半を占めますが、必要以上に手を加えない管理のため面積の割に豊富な昆虫が生息します。
- 井草八幡宮……文化・歴史的な視点からも重要な緑地です。周辺には、学校、緑の多い住宅地が集積し、ウグイスやカワラヒワなどの鳥類が見られます。
- 善福寺川……区内北部の善福寺池を水源とし、区のほぼ中央を蛇行しながら東へ流れています。上流部は水量も少なく、三面護岸で、みどりの少ない川沿いです。
- 幹線道路……青梅街道には街路樹があり、井草八幡宮北側には衰退傾向の桜並木があります。
- 農地……一団となった生産緑地など、農地が比較的多く点在します。
- 樹林……屋敷林・寺社・宅地などに残された樹林が点在します。

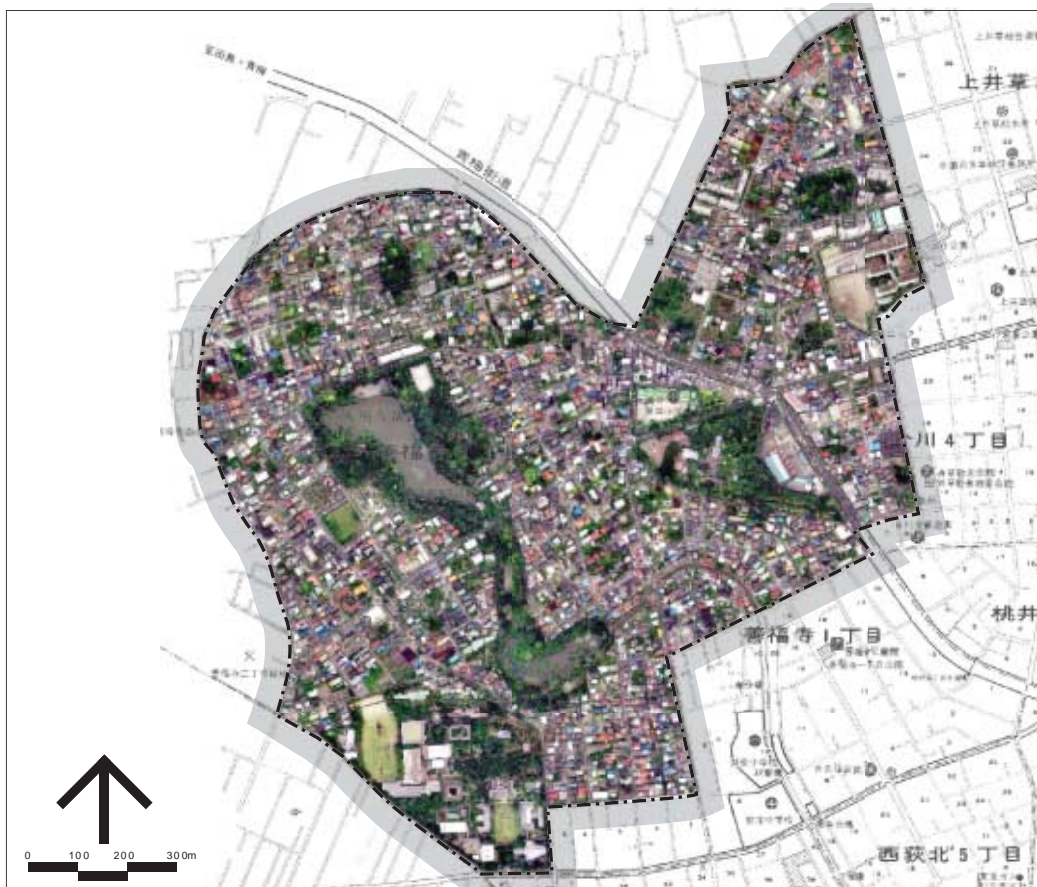


図-7 航空写真（平成14年撮影）